AudioComm®

FMステレオ/AM ライターサイズ ラジオ

RAD-P3331S

保証書付 取扱説明書

FMステレオ/AM ライターサイズラジオを
お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しく安全にご使用いただくため、
ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
必ず保管してください。

安全にお使いいただくために

電気製品は正しく取り扱うことによって、安全にお使いいただけます。間違った使い方は火災や感電による人身事故につながることがあります。ご使用前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

⚠ 警告 「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

- ●乾電池は、充電しない。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。
- ●車、バイク、自転車の運転中はイヤホンでの使用や、細かい操作をしない。歩行中に聞く場合、周囲の交通に十分注意する。交通事故などの原因となります。
- ●屋外使用中に雷が鳴り出したら、すぐに使用を中止する。落雷の原因となります。

⚠ 注意 「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

- ●湿気やほこりの多い所、油煙や湯気のあたる所には置かない。故障の原因となります。
- ●窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる所、暖房器具のそばなど、異常に高温になる所に置かない。故障及び火災の原因となります。
- ●指定以外の電池は使用しない。新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。種類の異なる電池（例：アルカリとマンガン）をいっしょに使用しない。使い終わった電池は取り出す。長期間使用しない時も電池は取り出す。電池の破裂、液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因となります。
- ●電池は、プラス⊕とマイナス⊖の表示どおりに入れる。電池の破裂、液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因となります。
- ●イヤホン使用時、耳を刺激する大音量で聞かない。聴力障害などの原因となります。

本体のお手入れの仕方

やわらかな布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤や石けん水に浸した布を固く絞って拭き取り、やわらかな乾いた布で仕上げてください。なお、シンナー、ベンジンなどの揮発性のもので拭いたりしないでください。変色・変形、または破損の原因になります。

故障かな?と思ったら 下表を参考に点検してください。

現　象	点検方法
音が出ない	・音量が最小になっていないか確認。 ・乾電池の残量を確認（残量がない場合は電池を交換）。
雑音が入る	・携帯電話、テレビ、蛍光灯の近くで使用していないことを確認。

主な仕様

受信周波数	AM　530−1605 kHz
	FM　76−95 MHz
電　　源	DC1.5V 単4形乾電池×1本（別売）
電池持続時間	AM 約60時間 FM 約60時間 （アルカリ乾電池新品使用、音量中位程度として）
外形寸法	幅42×高さ81×奥行17mm（突起物含まず）
質　　量	約37g（乾電池含まず）
付　属　品	ステレオイヤホン、保証書付取扱説明書

※仕様および外観などは、改良のため予告なく変更することがあります。

（キリトリ線）

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   （イ）使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
   （ロ）お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
   （ニ）消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   （ホ）本書のご提示がない場合
   （ヘ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合（但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。）
   （ト）本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   （チ）一般家庭用以外（例：業務用、または業務用に準ずる使用方法）で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

各部の名称

（キリトリ線）

保 証 書　持込修理

商品名	AM/FM ライターサイズラジオ	★お買い上げ日： 年　月　日
型番（品番）	RAD-P3331S-W（03-0957） RAD-P3331S-S（03-0958） RAD-P3331S-K（03-0959） RAD-P3331S-P（03-0960）	保証期間:本体1年間 （お買い上げの日から）
お客様	ふりがな ★お名前　様	
	★ご住所　〒　ー 電話　（　）	
修理メモ		
販売店	★住所　店名　電話 印	

（注）★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

修理に関するご相談は　修理ご相談センターへ
電話受付 048-992-3970 平日 9：00～17：00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

製品に関するお問い合わせは　お客様相談室 へ
●通話料無料 0120-963-006
●携帯・IP・公衆電話からは 048-992-2735
電話受付 平日 9：00～17：00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

03-0957A

電池の入れ方

❶ 本体背面の電池ボックスカバーを右横にスライドさせた後、上に持ち上げて開きます（各部の名称・背面図参照）。
❷ 電池ボックスに単4形乾電池1本（別売）を入れます。電池ボックス内に表示されているプラス⊕、マイナス⊖の極性どおりに正しく入れてください。なお、電池を入れる際は必ず⊖側から先に装着してください。
❸ 電池ボックスカバーを❶と逆の手順で閉めます。

アルカリ乾電池のご使用をお薦めします。マンガン乾電池、充電式電池では使用可能時間が短くなります。

ラジオの使い方

❶ 音量ツマミを下方向に回して、音量を最小にします。
❷ 本機はイヤホン専用ラジオですので、本体の上面にあるイヤホン端子にステレオイヤホン（付属）のプラグを接続して、イヤホンを耳に装着します。
❸ 電源/BBSスイッチを「入」側にして電源を入れます。
❹ バンド切換スイッチで「AM」、「FM」、「FMステレオ」を選択します。
※FMステレオでお聴きの際、受信状態が悪い場合は、FMステレオからFM（モノラル）に切り替えると受信状態が若干改善される場合があります。
❹ 音量ツマミを上方向に回して、耳に負担のない音量に調節します。
❺ 選局ツマミを回して、お聴きになる放送局の周波数に合わせます。
※本機には、低音強調機能（BBS）が搭載されております。電源/BBSスイッチを「低音強調機能（BBS）」側にすると、低音が強調された音声となり、音楽放送では低音の迫力アップ、ニュースでは声が聴き取りやすくなります。
❻ ご使用を終える時は、電源/BBSスイッチを「電源/切」側にして、電源を切ります。

※本機はアナログ選局のため、使用状況により周波数の表示が受信している周波数から多少ずれる場合がありますのでご了承ください。
※本機はFM周波数帯域が76～95MHzまであるため、ワイドFM（FM補完放送）に対応しています。
ワイドFM（FM補完放送）とは、AM放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のためにFMの90.1～94.9MHz周波数帯域を用いて補完的にAM番組を放送することです。ワイドFM（FM補完放送）の開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

受信について

■AM放送を聞くとき
本体を放送が一番良く受信できる方角に向けてください。

■FM放送を聞くとき
イヤホンがFMアンテナ兼用となりますので、イヤホンを伸ばして、放送が一番良く受信できる方角に向けてください。

■電車や建物の中で聞くときは
電波が弱くなると、聞こえにくくなります。本体を窓に近づけてお使いください。なお、トンネルや地下鉄の中、地下街などでは、電波状態が悪く聞こえないことがあります。

■音声について
・本機はFMステレオ、FMモノラル、AMモノラル受信機です。
・本機はTV放送は受信できません。